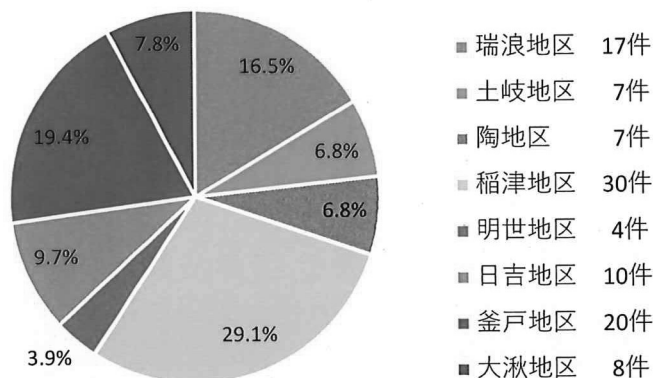


瑞浪市学区制についてのアンケート集計結果（区長会）

■ アンケート対象者	: 区長
■ アンケート期間	: 令和4年9月1日（木）～11月4日（金）
■ アンケート回収総数	: 103件

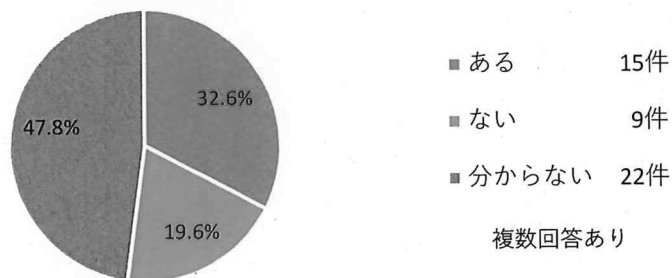
地区別回答



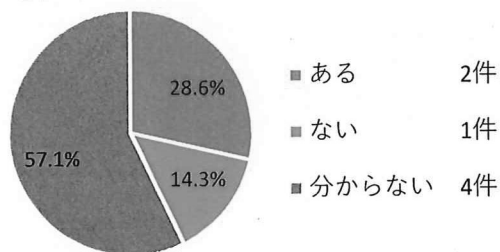
1. 瑞浪南中学校、瑞浪北中学校の統合について

○地域の中に中学校がなくなったことにより、地域に変化はありますか。

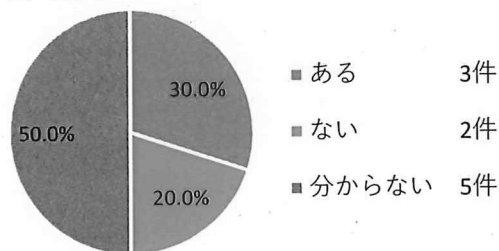
全体



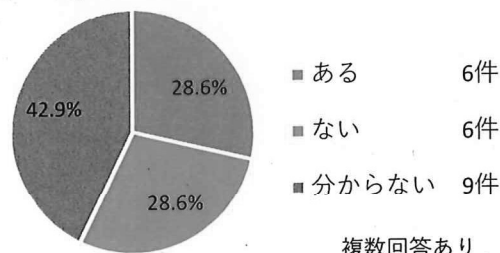
陶地区



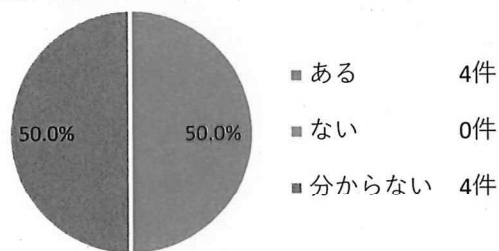
日吉地区



釜戸地区



大湫地区



統合により地域の中に中学校がなくなった地区の地域の変化について、変化が「ある」の回答は約3割を占める。大湫は約5割と高くなっている。

プラス面としては、「交流や活動の幅が広がったこと」の他、「バス通学による安全性」や「跡地利用による活性化」についてがある。

マイナス面としては、「生徒の姿を見かけなくなった」「学校行事に触れ合う機会がなくなった」ことから、淋しくなったり、過疎化の不安についてが多い。

(プラス面)

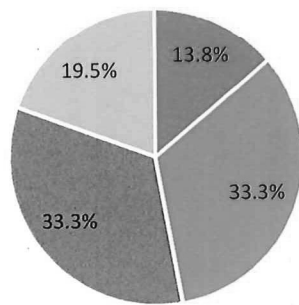
- ・ 他地区の生徒との接点ができる。
- ・ 日吉地区の学生だけの交流から他地区の学生との交流により、中学生の視野が広がり、地域にも良い影響を与えている。
- ・ 中学生が多くの人と交れ、部活が出来る。
- ・ 跡地を企業が買収し、活性化につながった。
- ・ バス通学で安全性が増した。
- ・ 単学級が複数の学級数となり生徒の教育環境が改善された。
- ・ クラスの人数が増えること。友達の幅が広がる。
- ・ 目では見えないがクラス替えや部活など統合しなければできないワクワク経験ができています。競争もあって生きる力逞しさがます。
- ・ 色々な活動が出来るようになった。学生が多くの人と交れ部活が

(マイナス面)

- ・ バス通学の為、生徒の姿を見ることがなくなった。コロナ禍のせいもあるが、各地域の催し等での活躍も見られない。
- ・ 地元の子供との接触が減少した。子供達の登校の負担が増大した。
- ・ 保育園・小学校・中学校と当の昔に無くなっている為、子供達が昼間居なくて、会話・対話できる時が無い。又、町の活性化も鈍くなってきている。
- ・ 日吉の小学生・幼稚園との交流が少なくなった。親御さんの送り迎えの負担が増えた。
- ・ 地域に学校がなくなったことで、更に若い世代の地域への定着がなくなる。
- ・ 学生がいなくて淋しい。グラウンドが使えない野球や運動が出来ない。若い人が流失しやすい。外から移住して来ても学校が遠い。バス通学だと登下校の時間が限られる。嫁が来ない。バス通学の時間が長い。
- ・ 孫などをつれて気軽に遊びに行けなくなった。
- ・ 体力の低下。(従来は自転車通学だったので)地域との交流(あいさつ)が少なくなる。
- ・ 中学生との身近な行事(合唱祭、体育大会)に触れ合う機会がなく、中学生が地域から離れてしまった感がある。
- ・ 学校行事や部活が分からなくなり、遠く感じられるようになった。
- ・ 以前のように町内で中学生を見かける事が減り過疎化した印象が大きくなった
- ・ 地域ごとで分かれてしまうこともある。
- ・ 町内を歩く中学生を見る機会が減った。統合でバス通となり朝部活がなくなったのは残念。瑞浪中のみ残っている？
- ・ 釜戸を離れる若者が増えたのではないか。
- ・ 活気が無い。生活スタイルによっては、中学生に出会うことすらない。体育祭・部活動等の声やチャイムの音も聞こえなくなり淋しい。住民は取り残された感じがあり、高齢者のまちなりつつあり、消滅するかもしれないという不安さえ抱く。

○統合前と統合後で、地域の中中学生との関わりについて変化はありましたか。

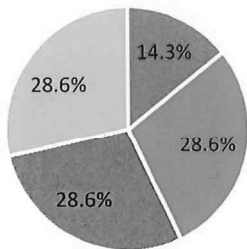
全体



- ある 12件
- ない 29件
- 分からない 29件
- 無回答 17件

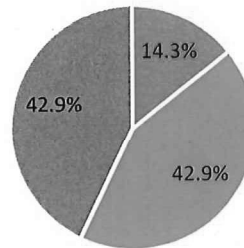
複数回答あり

土岐地区



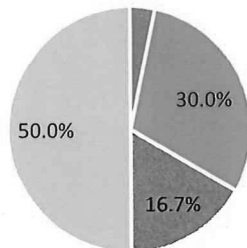
- ある 1件
- ない 2件
- 分からない 2件
- 無回答 2件

陶地区



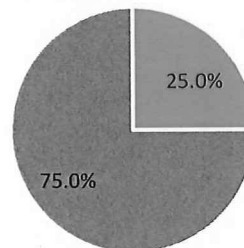
- ある 1件
- ない 3件
- 分からない 3件

稲津地区



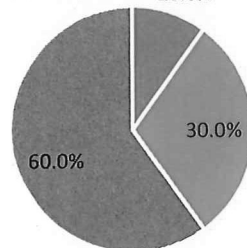
- ある 1件
- ない 9件
- 分からない 5件
- 無回答 15件

明世地区



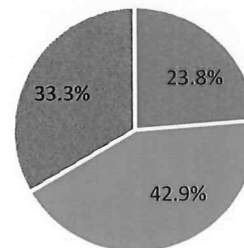
- ある 0件
- ない 1件
- 分からない 3件

日吉地区



- ある 1件
- ない 3件
- 分からない 6件

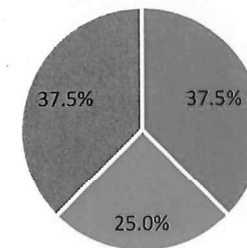
釜戸地区



- ある 5件
- ない 9件
- 分からない 7件

複数回答あり

大湫地区



- ある 3件
- ない 2件
- 分からない 3件

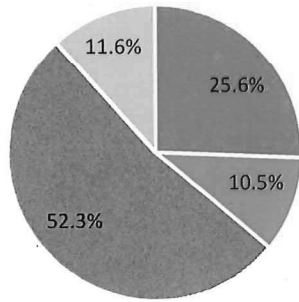
統合前と統合後の地域の関りに変化が「ある」と回答は、約1割である。釜戸・大湫地区の「ある」の割合が高く、地区によって差がある。

学校行事への参加や通学時のあいさつ等の交流の機会が減った。一方でイベント等への参加が増えた。

- ・ 地区のイベントにお手伝いしてくれる（コロナ前）
- ・ 登校中の生徒にあいさつもできず（バス通学）出会いの場はなくなってしまった。
- ・ 学校行事への参加の減少  
地域と学校との連携の減少
- ・ 地区の行事への参加の呼びかけに配慮している。
- ・ 町内行事等への参加が減ったように感じられる。
- ・ 統合前から地域に中学生が少なく関りがあまりなかった。統合して遠くなってしまったが、何か中学生と家に居なくても関りが持てる行事があるといいですね。（中学生が祭りや地域の行事に参加する等）
- ・ 関りが減った。
- ・ 通学時のあいさつなど地域との交流が少なくなり、なんとなく活気が低下したように思います。
- ・ 中学生の姿を見かけなくなった。（以前は集団で下校する姿が見られた）
- ・ コロナ禍で地域の行事等が開催できない。従来、お祭りや資源回収以外に生徒と関りが少ない。中学生より小学生の方が、関りが多い。
- ・ 校区が広がったことで、視野も広がって、子どもたちに<sup>プラス</sup>も大きく与えられたように感じる。
- ・ 稲津の子が陶のふれあい広場のポスターをつくってくれたり、ボランティアで来てくれたりしているのは○
- ・ 住む場所やその人が各々の年齢や生活スタイルにもよるが、子供が学校を卒業すると関わる機会は無くなってしまった。通学バスを見て学生がいてくれることに安堵したりする。

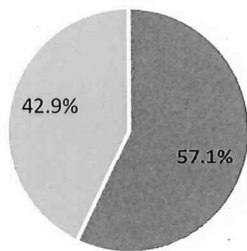
○統合したことに対する現在のご意見

全体



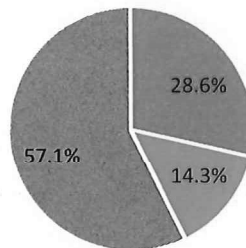
- 統合してよかった 22件
- 統合しない方がよかった 9件
- 分からない 45件
- 無回答 10件

土岐地区



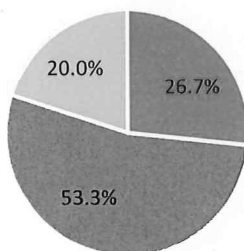
- 統合してよかった 0件
- 統合しない方がよかった 0件
- 分からない 4件
- 無回答 3件

陶地区



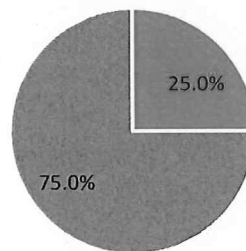
- 統合してよかった 2件
- 統合しない方がよかった 1件
- 分からない 4件

稲津地区



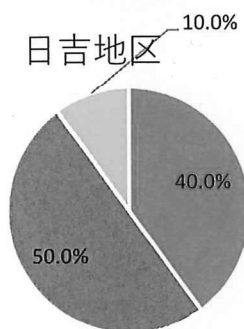
- 統合してよかった 8件
- 統合しない方がよかった 0件
- 分からない 16件
- 無回答 6件

明世地区



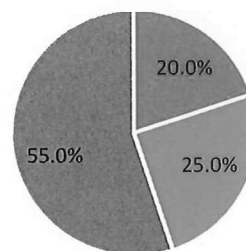
- 統合してよかった 1件
- 統合しない方がよかった 0件
- 分からない 3件

日吉地区



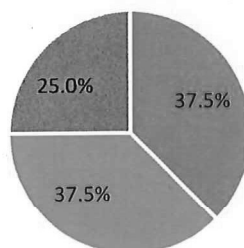
- 統合してよかった 4件
- 統合しない方がよかった 0件
- 分からない 5件
- 無回答 1件

釜戸地区



- 統合してよかった 4件
- 統合しない方がよかった 5件
- 分からない 11件

大湫地区



- 統合してよかった 3件
- 統合しない方がよかった 3件
- 分からない 2件

「分からない」が半数以上を占めている。

「統合してよかった」が「統合しない方がよかった」の倍以上を占めている。

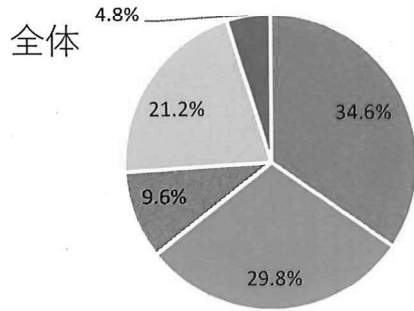
統合により中学校が無くなった地区からは、「統合しない方がよかった」の回答もでていいる。  
人間関係や学校活動の巾が広がり「統合してよかった」とする回答が多い。

- ・ 小・中学生のうち校区が小さいほうが、自己の帰属意識の確立(?)のためにはいいと思う。自分の生まれ育った所に対する愛情の帰属する土地がはっきりしている安心感。
- ・ 色々な地域の中学生が、参加(お手伝い)してくれる(イベント)
- ・ 統合する事により生徒が多数の同級生がいき、つき合いに巾ができた様に思う。しかし、地元としては学校が遠くはなれた事は少しさみし(仕方ない)
- ・ 地元の学校感がうすれ、地域の人にアピールしにくい。  
子供達の間関係がうまく形成されていかない。
- ・ 出来ればしない方が良かったと思うが、これだけ子供が減少している状況を見ると仕方ないかも。市の政策にも問題があるのではないか。
- ・ 統合により学校行事など盛んになり生徒同士の間関係が良好になる。
- ・ 中学生たちに、初対面の人とのコミュニケーションをする期が増し、今後のためになると思う。
- ・ 高校で初めて他市町の生徒と同窓になった時代を思うと、人間関係の広がりを段階をふんでできる。
- ・ 絆、積極性、活性化、実践
- ・ 部活動の種類と人数が増えたこと。陶の中学生が入ることによって人間関係が新しく築ける機会が増えたこと
- ・ 保育園からずっと同じメンバーだったので統合することで刺激になった(勉強やスポーツ面で)  
新しい人間関係ができた
- ・ 幼稚園からの人間関係に変化がうまれる。  
2クラスあることで、競争心が生まれたり、より集団としての高まりにつながった。
- ・ 稲津の子どもだけでは人数が少なすぎるので統合して増えて良かったと思います。
- ・ 友人が増えた
- ・ 友達がふえる
- ・ 少人数の中学校生活よりも、人間関係や学力、コミュニケーション能力が身につく。
- ・ 地域の若者の減少という面ではマイナスとなるが、子供からすれば最新の学習環境が得られるとともに、クラブ活動等にも選択肢が広がった。
- ・ いい意味で、競争心が生まれること。地域以外の友だちが増え、話題も広がる。
- ・ 現実的な対策だったと思う
- ・ 遠くなる。教育環境の悪化(不便さなど)により不安を抱いている者もあり、今後、生活拠点を地域外に求める者も想定され、地域の活力が低下し、一層過疎化が進むものと思われる。
- ・ 良い面、悪い面があり、一概に言えない。町に中学校が無いとイメージが悪くなるが、子供があまりにも少なければやむを得ないという気持ちもある。

- ・ より多くの地区（日吉、瑞陵）の生徒と共学できて視野が広がる。
- ・ 統合はやむを得ない選択なので仕方がないが、やはり各地区に1校はあった方が「地域で見守る」意識が強い。
- ・ グランド、体育館が使えなくなってしまった。（釜中）
- ・ 生徒の教育環境面は向上した。しかし、学校は地域のシンボリック的なものであり、統合後の地域についてしっかり議論し、対応されたか課題がある。
- ・ 中学生の姿を見かけなくなった
- ・ 学校を運営する上で仕方ないと思う。
- ・ 生徒の数を考えるとしかたなかったと思います。（ワクワク感とみがきあいという面から）
- ・ 子供の目線で見れば致し方無かったのではないか。せっかく統合したので、勉強以外の様々な活動からも成長と共に自立と自律、社会性も身に付けていくので、小学生までの限られた人間関係の社会よりも今までに出会ったことの無いタイプの人と関わる機会も世の中に出るには大切で様々な気づきができるはずと判断したいところである。

## II. 今後の小中学校区の見直しについて

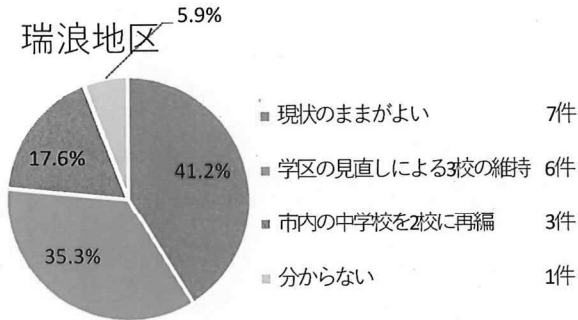
### ○今後の中学校区の見直しについて



- 現状のままがよい 34件
- 学区の見直しによる3校の維持 31件
- 市内の中学校を2校に再編 10件
- 分からない 22件
- 無回答 5件

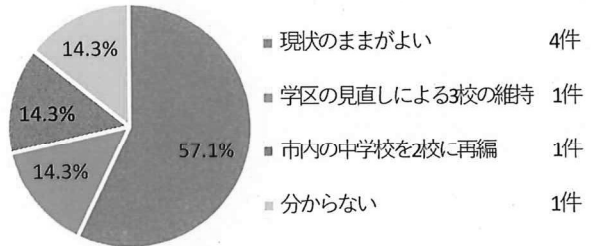
複数回答あり

#### 瑞浪地区



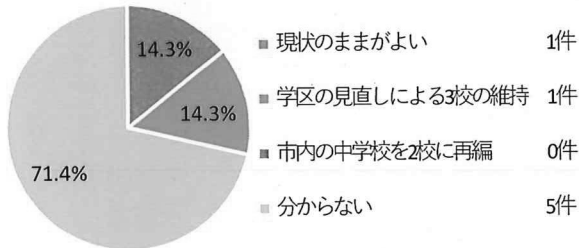
- 現状のままがよい 7件
- 学区の見直しによる3校の維持 6件
- 市内の中学校を2校に再編 3件
- 分からない 1件

#### 土岐地区



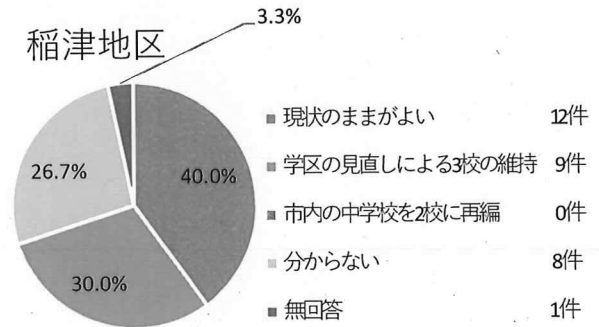
- 現状のままがよい 4件
- 学区の見直しによる3校の維持 1件
- 市内の中学校を2校に再編 1件
- 分からない 1件

#### 陶地区



- 現状のままがよい 1件
- 学区の見直しによる3校の維持 1件
- 市内の中学校を2校に再編 0件
- 分からない 5件

#### 稲津地区



- 現状のままがよい 12件
- 学区の見直しによる3校の維持 9件
- 市内の中学校を2校に再編 0件
- 分からない 8件
- 無回答 1件

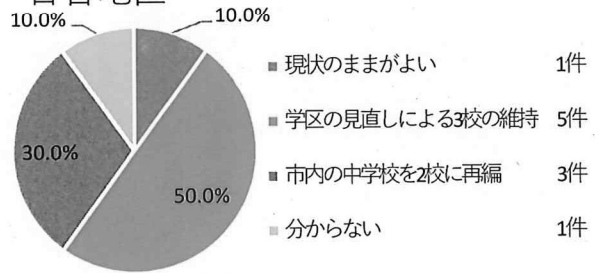
#### 明世地区



- 現状のままがよい 1件
- 学区の見直しによる3校の維持 2件
- 市内の中学校を2校に再編 1件
- 分からない 1件

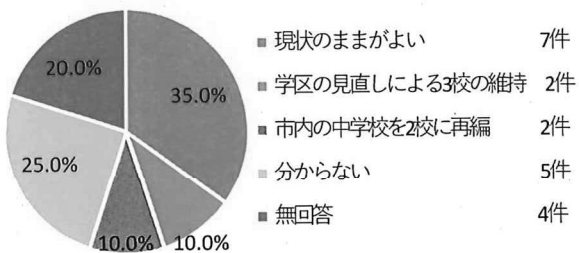
複数回答あり

#### 日吉地区



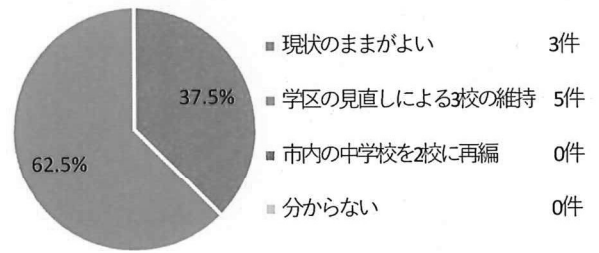
- 現状のままがよい 1件
- 学区の見直しによる3校の維持 5件
- 市内の中学校を2校に再編 3件
- 分からない 1件

#### 釜戸地区



- 現状のままがよい 7件
- 学区の見直しによる3校の維持 2件
- 市内の中学校を2校に再編 2件
- 分からない 5件
- 無回答 4件

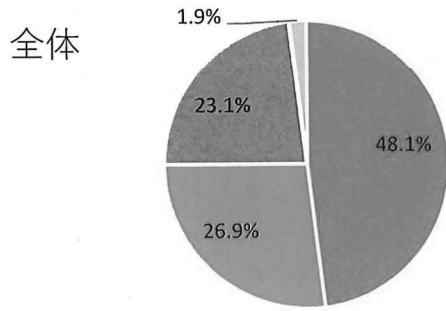
#### 大湫地区



- 現状のままがよい 3件
- 学区の見直しによる3校の維持 5件
- 市内の中学校を2校に再編 0件
- 分からない 0件



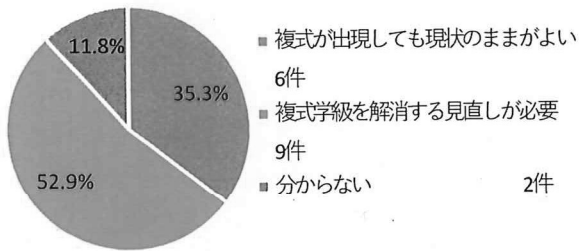
○今後の小学校区の学区見直しについて



- 複式が出現しても現状のままがよい 50件
- 複式学級を解消する見直しが必要 28件
- 分からない 24件
- 無回答 2件

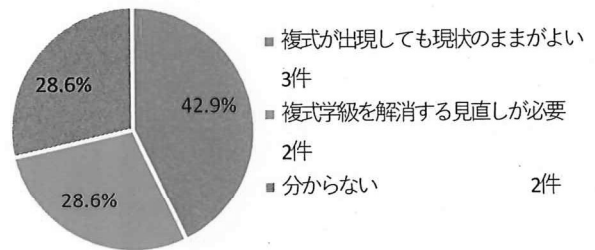
複数回答あり

瑞浪地区



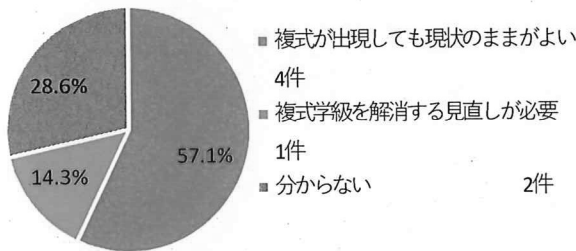
- 複式が出現しても現状のままがよい 6件
- 複式学級を解消する見直しが必要 9件
- 分からない 2件

土岐地区



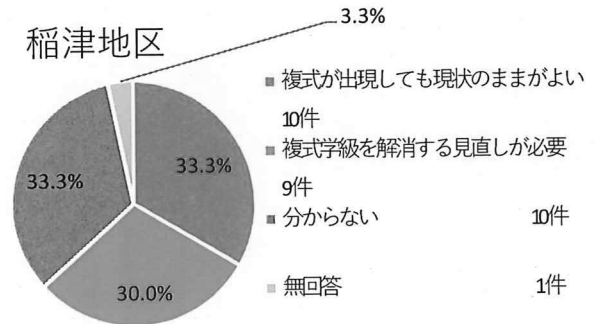
- 複式が出現しても現状のままがよい 3件
- 複式学級を解消する見直しが必要 2件
- 分からない 2件

陶地区



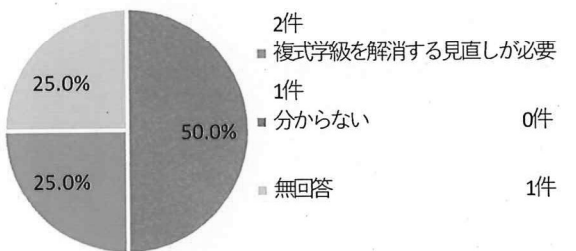
- 複式が出現しても現状のままがよい 4件
- 複式学級を解消する見直しが必要 1件
- 分からない 2件

稲津地区



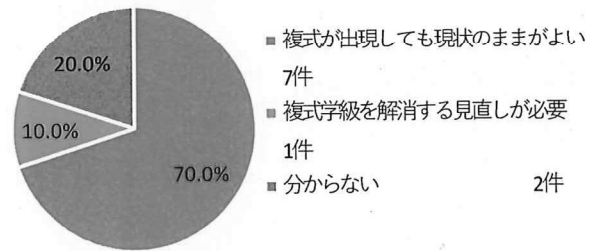
- 複式が出現しても現状のままがよい 10件
- 複式学級を解消する見直しが必要 9件
- 分からない 10件
- 無回答 1件

明世地区



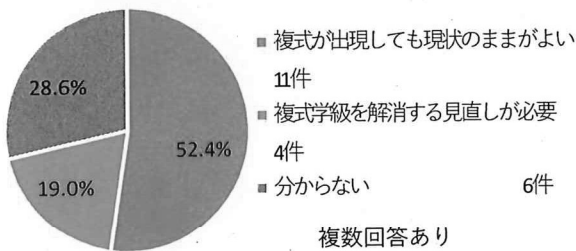
- 複式が出現しても現状のままがよい 2件
- 複式学級を解消する見直しが必要 1件
- 分からない 0件
- 無回答 1件

日吉地区



- 複式が出現しても現状のままがよい 7件
- 複式学級を解消する見直しが必要 1件
- 分からない 2件

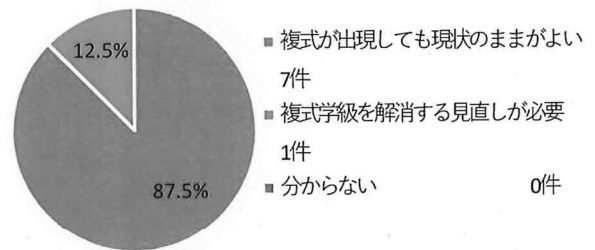
釜戸地区



- 複式が出現しても現状のままがよい 11件
- 複式学級を解消する見直しが必要 4件
- 分からない 6件

複数回答あり

大湫地区



- 複式が出現しても現状のままがよい 7件
- 複式学級を解消する見直しが必要 1件
- 分からない 0件

今後の中学校見直しについては、「現状のままだがよい」「学区の見直しによる3校の維持」がそれぞれ約30%を占める。明世・日吉・大湫地区は、「学区の見直しによる3校の維持」の割合が高い。

今後の小学校区の見直しについては、約半数が「複式が出現しても現状のままだがよい」を占めている。近い将来、複式が出現すると思われる地区の方が「複式が出現しても現状のままだがよい」の割合が多い。

地域に学校を残し、地域と子どもたちとのつながりを大切に思う意見が多い。

中学校は、学区の見直し意見が数件ある。

学区の見直しだけでなく、根本的な少子化対策についての意見もある。

- ・ 特に小学校は、できるだけ地元の学校を存続させるよう工夫する。退職教員などを雇い加配などを考え開かれた学校を創る手立てはないのか。
- ・ 小学校はその地域のシンボリックな存在である気がします。現状のままにして対策を講じなければ統廃合を考えなければならないと思います。その場合就学中の児童の考えも尊重してその地域の方の理解が必要になってきます。学区の見直しが可能ならばそれが理想ではないでしょうか。現状のデータを添付いただきましたが、内情が詳しく分かりませんので一般論しか書けません。
- ・ 小学校の校区はなるべく小さくて、地元とのつながりの中で、子供たちがそだっていくのがいいと思う。ただし、かつての大湫小・釜戸小の総合のケースを思うと地域活性化からの見方と子供の教育の質の問題はかならずとも一致しない。複式学級はさけるべきだと思う。
- ・ 地域に学校がある事により地域の人々は子供を近くに感じられ、活力さえ感じる事ができるが、送り出すだけのヘキ地としては統合はさみしき限りであるが、子供の毎日の学校生活を考えるとやはり子供中心に学区を考えるをえないのか・・・と感じる。道草しながら帰った自分たちはとても楽しく友達とのかけがえのない時間だったが、今はバスにゆられ会話を限られ、かわいそう・・・でも仕方ないですね。過疎化している場所に移住などによる誘致を進めてほしい。魅力のある地域作りに我々も参加したい。子供を増したい。
- ・ 地域との連けい行事を実地できるように生徒の移動予算（たとえばバス代）の確保に努めてもらいたい。  
行政には、子育て支援策、人口増加施策（たとえば移住定住政策の推進）に積極的に取り組んでもらいたい。
- ・ 地域から学校が無くなると、町の活気が無くなる。  
人口増の施策を市が実地すべきである。
- ・ 小学校区単位で進められる自治会、まちづくり組織への対応、影響も考慮して検討する必要があると考えます。
- ・ 生徒が均等に分散できる区分りの検討と学校の維持を考えることが必要と考える。
- ・ 地域の人たちは小学生、中学生が通学する姿をあたたく見守っています。家の前を通る姿で元気づけられている。

- ・ 昔から思っていたのですが、学園台の子は、なぜ北中に行くのか？瑞浪中なら近いのに？自転車通学は事故の確率が高いのでは？子供の命を軽視していませんか？学区見直しの時何を一番に考えているのか親として知りたいです。
- ・ 生徒数のバランスをとり、市内3校（中学）が望ましいと思う。その為の学区の見直しを行うべきと思います。
- ・ 地域に子供が少なくなって学校との関りはうすくなっている。子供の多い時代は子供の姿を見て、学校での事が想像できたが、今はそういう事にも無関心となり地域の中に学校があるという事も忘れてしまうのではと感じている。
- ・ より地域と学校交流が出来ると良い。高齢者・子供お互いにいい刺激になるので・・・
- ・ 難しい問題だが、見直しは必要だと思います。
- ・ 複数学級の人数規模からして仕方ないかもしれないが、根本原因として、日吉を魅力ある地域にしないと問題は解決しない。子育て世代の定住促進策として、本郷、南垣内地区等の中心地に特区を作り利便性を高める。公園がない。人工的な公園が必要。手入れがいきとどいた施設等。自然を強調しても、人工的に整備しなければ人は集まらない。
- ・ 日吉町に学校を残してくれる事を願ってます。
- ・ 複式学級のメリットについて学校側、地域側が話し合いの場を設け、発展的な具体案をつくる。
- ・ 1学年1学級という状況は、他の地域では数十年この状況となっている所あり。私立無償化となり、小中学校の人数へも影響は出ており、魅力ある学校経営とはを考えなければいけない。
- ・ 日吉小学校に放課後子ども教室を作って、児童の安全で安心な居場所を確保してほしい。
- ・ 地域と学校の関りは必要であります。学校との関りが高齢化とともに少ないので、一緒に活動する行事を増やし、子供達が地域の方々と長年交流ができる様にして関りを持ち「となりの・・・くんは・・・」と話題が上がるようにしては？
- ・ 現状の住宅環境では、学区の見直しをしても、何年か経過すると瑞浪中は定員オーバーで、北中、南中は見直しが必要となります。従って、住宅環境の変更が必要と思います。例えば、土岐町の清水地区の森林や稲津地区の山林を造成して、明賀台規模の住宅地をつくり、学校区の中の住民を増やす必要があります。
- ・ 教員の配当基準は検討しないのか？
- ・ 小学校低学年の場合、通学距離ができるだけ短い方が理想的であるとは思いますが、少人数による弊害の方が大きいと考えます。子供達の選択の多様性、可能性の拡大の為には、多人数である事が不可欠であると思います。
- ・ 大きい学区から小さい学区への移動が再編ということなので、移動する所から不満がでると思う。（3校はあった方が良かったので）
- ・ 見直しとなれば、通学バス等利便性を図る必要がある。小中のつながりもある。
- ・ コロナのため、地域行事もできない等、子供のいない世帯では、学生との関りがまったくなくなった。特に老人世帯では、学校に出向く事も不可能となっている。

- ・ 地域の事を考えると複式学級となっても学校は残して欲しい。若い人達が結婚して地域に嫁や婿が来てくれるか、学校も遠く、病院やショッピングセンターも遠いとよけいにハードルは高くなる。しかし、子供達には、複式でなく、きちんと教育を受けさせたいと思う。都会には多くの子供が集まり、不登校等、様々な問題が発生している。都会の子供を瑞浪の人数の少ない小学校中学校に留学に来てもらい学生数を確保したらどうか。官民協力してシステムを作れば全国から集まる筈である。空家もあり、移住してもらえば人も増えなお良い。専門家を入れて研究すべきだと思います。
- ・ 自治区でも、小中学生と交流できる行事を企画していきたいと思います。
- ・ 教育委員会は学区の見直しを児童生徒の教育環境を最優先に検討しているが、地域は、教育環境の向上は重要だが、学校の有無が活性化に直結する課題と認識している。先の学校再編で閉校した学校施設の後利用として、民間企業に売却しただけでは地域の課題解消にはつながらない。  
学区の見直しは、学区を検討する教育委員会だけの課題ではない。人口減少する地域と持続可能な地域づくり等、市全体の課題と考える。学区見直しにあたり、財政支援と地域の自主性に委ねるだけでなく、まず、地域人材育成を並行して進めていただきたい。特に、子育て世代の者が地域で安心して中心的な役割を担える制度を並行して進めてはどうか。（集落支援制度の拡充）
- ・ 中学校においてバス通学対象学生が増えると私立に人が流れる傾向がより高まる。
- ・ あまり変えない方が地域、生徒、保護者、行政に負担がない。  
コロナ化で発見したテレワークの活用（東進ゼミ参考  
ITやテレワークを活用し各々の負担を減らす教育活動  
生徒、先生、保護者、それぞれの立場の問題点  
地元地区への奉仕活動推進  
夏休み期間の見直し（学校の冷暖化～保護者負担の軽減）
- ・ 小学校は人生の原風景を構築する上で、地域に（徒歩で行ける距離）在るべきだと思います。
- ・ 現状でいいです。
- ・ 子どもの将来を第1に考えるという基本線は大切に。「学校がなくなると大人がさみしい」・・・はダメ。  
子どもの数を増やす、町民を増やす努力も同時に行っていく。空家バンクなど
- ・ 若い世代が地域にいなくなると町がさみしくなると思います。自分の家に小、中学生の子供がいないので、かわりがなくよく分かりません。もうしわけありません。
- ・ 少子化だからひとつにまとめてしまえばいい。みたいな考え方には反対です。何より地域に学ぶ場が存続することは、親御さんが一番安心でしょう。特に小学生の親御さんであれば、教育者と保護者又保護者同士のコミュニケーションは我が子を知り育てるうえでとても大切です、安全で安心できます。生活スタイル家庭のあり方に違いはありますが、地域でしっかりと子供たちをみつめて受けとめる居場所（心の居場所も含めた）をつくっていくことが学校づくりと共に大切だと思います。